

第3回 江東未来会議

(第4分科会：まちづくり・環境分野)

次 第

日時：平成19年11月1日(木) 午後7時00分～9時00分

場所：江東区役所7階 第73会議室

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 本日のワークショップの進め方について
- 4 ワークショップ
(テーマ：まちづくり・環境分野の重点テーマにおける課題について)
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

- 江東未来会議第4分科会 第2回議事概要
- 江東未来会議第4分科会 第2回グループ討議結果
- 第3回江東未来会議第4分科会 重点テーマ(案)
- 江東未来会議第4分科会 第1回議事概要(確定版)

江東未来会議 第4分科会 第2回グループ討議結果

I グループ

既存の) 景観・観光

川と緑のある町。美しい景観がある

運河が美しい

魅力に付いて、観光にも少し力を入れ、人が集まって来る魅力作りが大と思う

下町(古い町)と開発地が混在している

魅力とは、区→現在ある、名所又古跡等の発掘に性を出し、区外の人達が来向する工夫が必要と思う

水の多い景観の美しさ。

区全体として古い時代のよさを持った(伝統文化のある町) 未来都市の最前線の町など他区に類を見ない良さ

エリアにより多彩な顔を持つ風景

人情味のある町が多い

地域によって高齢者が多く町づくりに対して接積性に欠ける

資源をもっと活用する必要がある

一部の目立つ組織が常に優先されている(アピールの上手なところ)

開発

地域差がありすぎる

開発地にほとんどいいほど高層建築物が建設され、周囲との不調和感がある

高層マンションやテーマ施設が集中しており、アクセスしやすい

4年後の押上の新タワー完成に対し現在 区への対応は

湾岸地域に開発の余地が十分ある

人口の急増に伴う通勤ラッシュ。

東部地域における南北方向の交通手段がバスのみ。(渋滞による遅延発生)

放置自転車の解決方法を是非1日も早く取り掛かる事です

安全安心のまちづくり

他の街の人々に比べ、災害への備え・意識あり

運河が氾濫をおこしたら危険

地震・水害への不安

問題点については、は現在次の→行政の間でない故取りません

町の安全について意識が薄い

災害への意識は漠然としている。災害の実態・イメージを把握できてない!?

災害がおきた際、混乱するおそれあり(道がせまい)

高層住宅の周囲にはもう少し空間が必要

魅力(良いところ) 問題点(悪いところ)

II グループ

水

水辺の環境

自転車で錦糸町まで
仙台堀 横十間川
と行けること
(緑化の設備OK)

水の都
(野鳥)(緑)

※他地区は住んだ
事が無いのでわか
らないが、住み易い

海に面し、都心にあ
る為に利便性あり、
発展の余地がある

水辺の整備

水辺
バリアフリーに

地震

防災対策。
(対地震)
区境、住民の不安。

行政サー
ビス(広報)
不足。

◎防災

街を全体にととのえる
看板のハイジョ
これは災害でも一番
気になる点

高層ビルのまわりが
強風で傘を持って歩
けない。子供は外を
歩けない。

交通

たての交通手段が
設備されていない
電戸⇄新木場

道路交通
(区内南北の移動)

自転車道

(新大橋地区)
公共施設への交通不
便。
・地下鉄、バス 等。

場所(地域)によるが
道路が広い

温暖化・水害

大雨で豊洲地域は歩
道も車道も水の中を
歩く(通る)ことになる

海に近いと云うことは、
地球温暖化が進めば、
海に没する。
平均海水面(0m)が
殆んど
10mの所はほんの
少ししかない

温暖化により近い将
来、江東区は海に埋
まるが、その対策を
聞いたこともない。
(温暖化対策をもっ
とした方がよい)

輸入が止まった時、
交通障害など何か
あった時に、区民は
食糧難になる。
(自給自足ができな
い)
提案として
都市農業をすすめ

景観

景観

高層マンションの無制
限? 建築許す

(新大橋地区)
・元気が無い
・古くからの居住者の
転居が多く、高年令化
が進んでいる

コミュニティ

区民の交流が薄い

文化センターにおける
学習の場所の提きょう
が他の区にない良い
点です

区民農園や環境施設
(えこっくるや清掃工
場)などがある。

街がタバコで汚されて
いる
タバコのポイ捨て
歩きタバコの禁止

都心にしては、まだ何
とかできる空地がある。
(青空が見える場所も
ある)

生活安全(治安)

魅力(良いところ)

問題点(悪いところ)

Ⅲグループ

街の魅力

観光

観光についても区は消極である 臨海部に観光案内所がない

豊洲の市場に千客万来施設こそ 区をして多いに都に意見をしてもらいたい

年間4280万人の訪問客があるのですからこれをいかに内陸部に誘致するか

河川や緑、歴史的建造物も多く観光立区として有利。

水路・水辺

運河のある街 水上バス・タクシーが行き交う夢のある街

水路・運河が魅力

水路の整備が出来てきている。

水辺の整備

水産都市のり、魚、貝など

景観が乱れている

緑そして花が咲き乱れる街

歴史・文化が感じられない

人情がある旧市街地

街の個性がない

ダーティーなイメージ、ゴミの街

歴史・文化がある街

発展する新市街地

防災

大地震や大空襲で生き残てられた高齢者が貧困に苦しんでおられる

マンションなど急激にかつ無秩序に増え、教育福祉・防災上も問題が多い

防災ゼロメートル地帯

防災対策に不安がある

交通

交通網

・区内の交通の不便(他区からのも含む)
・全体的にチグハグである

南北の交通システムが悪い

公共交通が弱い

水上交通 橋の整備

道路

車中心の街

歩道に自転車走り危険

コンビニ都市江東 住みたくなる街

区としての統一性がない

古い町と新しい町(湾岸地区)のバランスが悪い (交通利便性格差)

内陸部 深川・城東地区の方は少し臨海部へのかんしんがうすいと思われる (アクセスに問題)

向こう三軒両隣の街

幼年層(子供)も多く 活気が持続できそう。

年齢バランスが良い

旧市街地と新市街地のコミュニティ分断

魅力(良いところ)

問題点(悪いところ)

第3回 江東未来会議 第4分科会～まちづくり・環境分野～
重点テーマ（案）

横断的テーマ 環境

重点テーマ その1

水辺

重点テーマ その2

防災

重点テーマ その3

交通

重点テーマ(案) その1

水辺

水辺の自然が良い

水の都
(野鳥) (緑)

水辺の環境

水路・運河が魅力

水産都市
のり、魚、貝など

※他地区は住んだ
事が無いのでわか
らないが住み易い

景観・観光

河川・水路

川と緑のある町。
美しい景観がある

運河が美しい

資源をもっと活用
する必要がある

水の多い景観の美
しさ。

エリアにより多彩
な顔を持つ風景

河川や緑、歴史的
建造物も多く観光
立区として有利。

臨海部

年間4280万人
の訪問客があるの
ですからこれをい
かに内陸部に誘致
するか

観光についても区
は消極である 臨
海部に観光案内所
がない

豊洲の市場に千客
万来施設にしろ
区をして多に都
に意見をしてもら
いたい

水路・水上交通 が良い

水路の整備が出来
てきている。

運河のある街
水上バス・タク
シーが行き交う夢
のある街

水辺空間

海に面し、都心
にある為に利便性
あり、発展の余地
がある

水辺の整備

湾岸地域に開発
の余地が十分ある

水辺の整備

自転車で錦糸町ま
で仙台堀 横十間
川と行けること
(緑化の設備OK)

水辺
バリアフリーに

重点テーマ（案）その2

防災

震災

情報・住民意識

町の安全について意識が薄い

◎防災

災害への意識は漠然としている。災害の実態・イメージを把握できてない!?

他の街の人々に比べ、災害への備え・意識あり

大地震や大空襲で生き残てられた高齢者が貧困に苦しんでおられる

防災対策に不安が有る

防災対策（対地震）
区境、住民の不安。
行政サービス（広報）不足。

安全・安心のまち

災害がおきた際、混乱するおそれあり（道がせまい）

高層ビルのまわりが強風で傘を持って歩けない。子供は外を歩けない。

街を全体にととのえる看板のハイジョ
これは災害でも一番気になる点

高層住宅の周りにはもう少し空間が必要

マンションなど急激にかつ無秩序に増え、教育福祉・防災上も問題が多い

生活安全（治安）

温暖化・水害

地震・水害への不安

防災ゼロメートル地帯

運河が氾濫をおこしたら危険

温暖化により近い将来、江東区は海に埋まるが、その対策を聞いたこともない。（温暖化対策をもっとした方がよい）

海に近いと云うことは、地球温暖化が進めば、海に没する。平均海面（0m）が殆んど10mの所はほんの少ししかない

大雨で豊洲地域は歩道も車道も水の中を歩く（通る）ことになる

輸入が止まった時、交通障害など何かあった時に、区民は食糧難になる。（自給自足ができない）
提案として
都市農業のすすめ

魅力(良いところ)

問題点(悪いところ)

重点テーマ（案）その3

交通

交通網

（新大橋地区）
公共施設への交通不便。
・地下鉄、バス等。

・区内の交通の不便（他区からのも含む）
・全体的にチグハグである

水上交通
橋の整備

公共交通が弱い

開発地域の交通

高層マンションや
テーマ施設が集中しており、アクセスしやすい

地域差がありすぎる

人口の急増に伴う通勤ラッシュ。

新市街と旧市街

旧市街地と新市街地のコミュニティ分断

内陸部 深川・城東地区の方は少し臨海部へのかんしんがうすいと思われる（アクセスに問題）

古い町と新しい町（湾岸地区）のバランスが悪い（交通利便性格差）

区全体として古い時代のよさを持った（伝統文化のある町）
未来都市の最前線の町など他区に類を見ない良さ

区としての統一性がない

コンビニ都市江東住みたくなる街

下町（古い町）と開発地が混在している

歴史・文化がある街

発展する新市街地

南北交通網が弱い

たての交通手段が設備されていない
亀戸⇄新木場

東部地域における南北方向の交通手段がバスのみ。
（渋滞による遅延発生）

南北の交通システムが悪い

道路

自動車道

車中心の街

道路交通（区内南北の移動）

場所（地域）によるが道路が広い

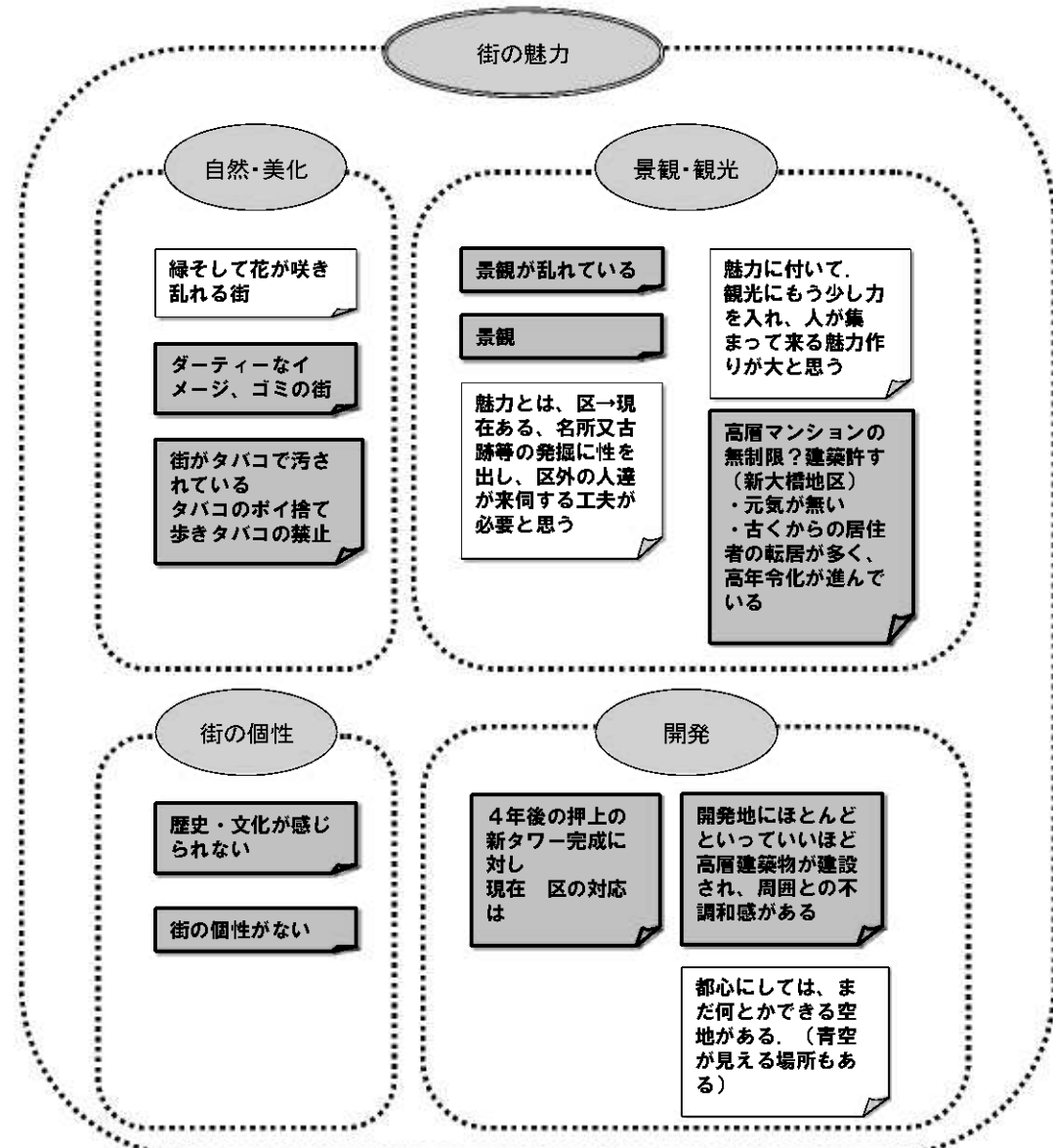
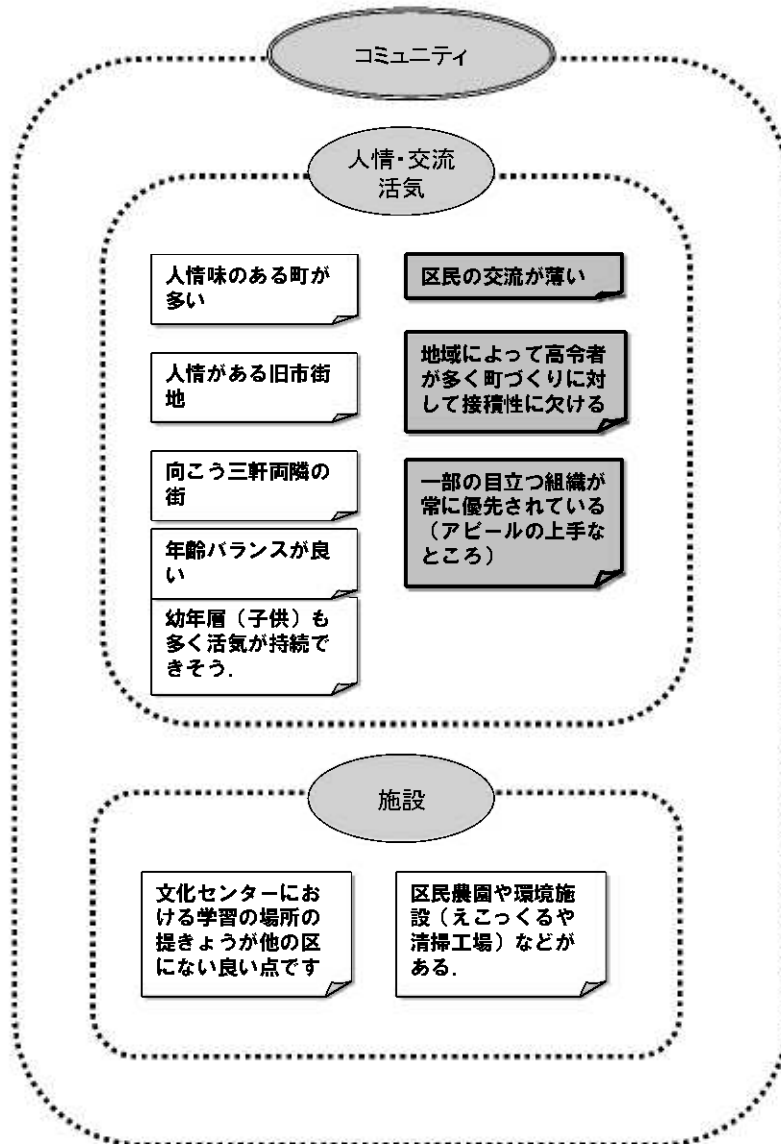
自転車対策

自転車道

放置自転車の解決方法を是非1日も早く取り掛かる事です

歩道に自転車が走り危険

その他の事項



□ 魅力(良いところ) ■ 問題点(悪いところ)

「まちづくり・環境」分野の重点テーマにおける課題の検討

1. 検討の進め方

(1) 前回の討議結果の確認（全員討議）

- ・まちづくり・環境分野の「魅力」と「問題点」について、前回のグループ討議の結果を確認します。
- ・前回の全体討議結果を元に、事務局で作成した重点テーマ整理案について、全員で討議を行います。討議に応じて修正を行い、合意が得られた整理案に基づいて、本日の討議を実施します。

(2) 重点テーマごとの討議（グループ討議）

■グループ分け

- ・討議にあたり、合意された今後の討議の重点テーマごとに、最も関心のあるものを選択していただき、それに沿ってグループ分け（3グループ）を行います。

■討議の内容

- ・今回のグループ討議の内容は、「まちづくり・環境分野における課題の整理」です。
- ・具体的には、重点テーマごとに、現状の問題点や魅力を再度検討し、江東区の望ましい将来像に結びつけていくために、解決すべきこと（＝課題）は何か、について整理してください。
- ・前回整理した「魅力」をどのように伸ばしていくか、「問題点」が解消されてどのように変わってほしいか、という視点にたって検討してください。

■討議の方法

- ・前回の検討方法と同様に、まず、各自が考える「課題」をポストイットに書き出し、発表し、模造紙に添付していきます。
- ・事務局案の各テーマの中にある論点の中グループ、小グループを参考としてください。ただし、必ずしもこれにそって検討して頂かなくても結構です。
- ・書き出された課題を、分野、対象、地域、要因などの観点から類似性、共通性があると思われるものをグルーピング（検討・整理）し、グループごとにテーマ名称を検討、決定してください。

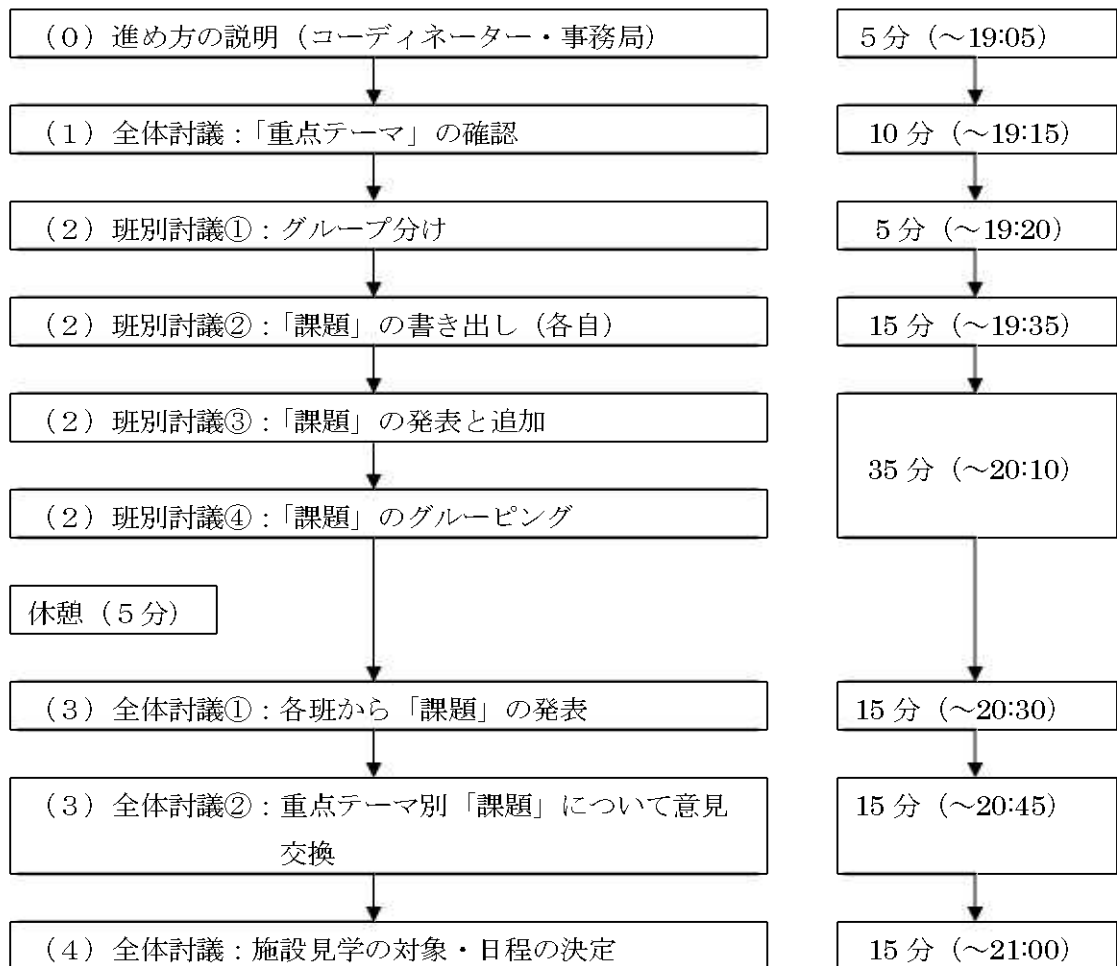
(3) 重点テーマごとの討議（全体討議）

- ・前回の検討方法と同様に、各グループが討議した重点テーマ別の課題を発表し、全員で改めて、課題について意見交換を行います。

(4) 施設見学の対象・日程の検討（全体討議）

- ・重点テーマを中心に、見学すべき区内施設等を検討します。また、平日または休日に実施すべきかについて検討し、11月中旬～下旬で実施候補日を決定します。

2. 検討の流れ(時間配分の目安)



3. 検討にあたっての留意点

- ・当分科会の担当である「まちづくり (道路、交通、公園、市街地整備等)、防災・生活安全、環境、景観・自然」に関連する江東区の「課題」を検討してください。
- ・薄く広く網羅的に検討するのではなく、重点を置いて取り組むまちづくりの目標を検討してください。
- ・班別討議の際に、進行役やグループを代表してポストイットや模造紙に記入する役が必要になる場合があります。誰か1人に任せるのではなく、各自で行う、分担する、交代で行うなど、全員が主体的に参加するようにしてください。
- ・グループごとの討議の記録は、ポストイットと模造紙に書き出された内容をもとに作成します。記録に残したい意見等はすべてこれらに書き出すようにしてください。

以上